

# 事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	農業委員会運営事業			事務事業コード	40680100
概要	農業委員会等に関する法律に基づき農業委員会を設置し、農地法をはじめとした各種法令に基づく農地関連の事務を執行するとともに、農業全般にわたる問題の総合的な解決を図るための各種取組を実施する。				
総合計画	基本施策	5	都市農業の育成	主担当部課名	農業委員会事務局
	施策	68	農地の保全及び魅力ある農業経営への支援	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～
見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり				
根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地法、生産緑地法、租税特別措置法、その他				
国土強靱化地域計画	該当あり	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	農業委員会委員				
事業目標	農地の適正な管理を推進し、その保全に努めるとともに、農業委員会活動を通じて本市の農業の維持・発展に寄与する。				
事業内容	<p>○農地法に基づく届出や許可等について、毎月開催する総会において審議を行う。また、農地パトロールにより市内の農地の肥培管理状況を確認し、適宜農業者に指導・助言を行う。</p> <p>○北多摩地区その他都内の農業委員会で連携し、農地・農業を取り巻く課題の共有化を図るとともに、国・都への要望活動や担い手の育成などの取組を実施する。</p>				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の種類(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の種類(※)							

- (※) 要因の種類
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	15,457,000	15,487,000	15,983,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	500,000	0	0	0
一般財源	15,457,000	15,487,000	15,483,000	0	0	0
予算現額	15,457,000	15,487,000	0	0	0	0
決算額	14,260,367	14,288,147	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	14,260,367	14,288,147	0	0	0	0
執行率	92.3%	92.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	1.39	1.60				
職員人件費	10,890,382	12,798,914				
月額制会計年度任用職員数	1.8	1.96				
月額制会計年度任用職員人件費	5,847,646	6,307,507				
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	15,791	26,676				
総コスト	31,014,185	33,421,244	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
総会12回開催 土地利用部会、農業経営部会開催 農地パトロールの実施 農業委員会だよりの発行 農業簿記講習会の開催 北多摩農業委員会連合会主催の研修等各種取組への参加 東京都農業会議主催の研修等各種取組への参加	前年度同様に法に基づく事務を執行するとともに、市の農業振興事業への協力など都市農地の保全・発展に資する各種取組を実施した。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
総会12回開催 土地利用部会、農業経営部会開催 農地パトロールの実施 地域座談会の開催 (適宜) 農業委員会だよりの発行 農業簿記講習会の開催 北多摩農業委員会連合会主催の研修等各種取組への参加 東京都農業会議主催の研修等各種取組への参加	前年度同様に法に基づく事務を執行するとともに、市の農業振興事業への協力など都市農地の保全・発展に資する各種取組を継続して実施する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
総会12回開催 土地利用部会、農業経営部会開催 農地パトロールの実施 農業委員会だよりの発行 農業簿記講習会の開催 北多摩農業委員会連合会主催の研修等各種取組への参加 東京都農業会議主催の研修等各種取組への参加	前年度同様に法に基づく事務を執行するとともに、市の農業振興事業への協力など都市農地の保全・発展に資する各種取組を実施した。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
総会13回開催 土地利用部会、農業経営部会開催 農地パトロールの実施 地域座談会の開催 (適宜) 農業委員会だよりの発行 農業簿記講習会の開催 北多摩農業委員会連合会主催の研修等各種取組への参加 東京都農業会議主催の研修等各種取組への参加	前年度同様に法に基づく事務を執行するとともに、市の農業振興事業への協力など都市農地の保全・発展に資する各種取組を継続して実施する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	主として農地法、農業委員会法等に基づく事務を執行するとともに、農地保全や地域農業の振興のための現状の取組を継続して実施する。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
		3 完了

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	30	05	05	0905500	農業委員会運営費	14,912,000	13,789,947	15,408,000
2	01	30	05	05	0907000	負担金 北多摩地区農業委員会連合会	121,000	75,000	121,000
3	01	30	05	05	0908100	負担金 東京都農業会議	454,000	423,200	454,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							15,487,000	14,288,147	15,983,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	都市農地保全推進事業			事務事業コード	40680200
概要	農業者や農業者団体が行う農地保全に資する取組を支援するとともに、都内の自治体と連携・協力し、国・都・都市住民への都市農地の保全に関する働き掛けを行う。				
総合計画	基本施策	5	都市農業の育成	主担当部課名	生活環境部 産業振興課
	施策	68	農地の保全及び魅力ある農業経営への支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	各種補助金交付要綱等（市・都）				
国土強靱化地域計画	該当あり	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	農業者、農業者団体				
事業目標	市内農地の保全を図るとともに、農地・農業が都市に「あるべきもの」という機運の醸成を図る。				
事業内容	○農地の持つ多面的機能の発揮や都市農業の必要性の訴求等に資する農業者の施設整備等への補助事業を実施する。 ○農業用水の稼働に係る電気料や井戸の修繕費等に対する補助事業を実施する。 ○都内の自治体と連携・協力し、都市農地の保全への機運醸成を目的としたフォーラムや、国・都への要望活動を実施する。				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 灌漑用水対策事業補助金を交付する用水組合数	3	計画値	3	3	3	3								
	用水組合	実績	3	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容	用水組合に対する各種支援を通じて現状維持ができた。													
② 都市農地保全推進自治体協議会を通じた国等への要望活動の回数	1	計画値	1	1	1	1								
	回	実績	1	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容	都市農地の保全に係る国への要望活動を予定通り実施した。													

- (※) 要因の類型
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	26,435,000	19,402,000	10,654,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	22,392,000	15,444,000	5,583,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,043,000	3,958,000	5,071,000	0	0	0
予算現額	17,404,000	19,402,000	0	0	0	0
決算額	15,402,400	14,558,700	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	12,012,000	10,355,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,390,400	4,203,700	0	0	0	0
執行率	88.5%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.00	0.71				
職員人件費	0	5,679,518				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	0	117,850				
総コスト	15,402,400	20,356,068	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼都市農地保全推進自治体協議会を通じた国への要望活動 ▼都市農地保全事業の補助 ▼灌漑用水対策事業の補助	新型コロナウイルス感染症の影響により都市農地保全推進自治体協議会の主催するフォーラムは開催することができなかったものの、同協議会を通じた国への制度改善の要望活動や、農業用水及び農地保全に係る補助事業を通じた農地保全の取組を継続して実施することができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼都市農地保全推進自治体協議会主催のフォーラム等各種取組への参加 ▼都市農地保全事業の補助 ▼灌漑用水対策事業の補助	農業の生産基盤となる農地や農業用水を保全するため、都市農地保全推進自治体協議会を通じた都市住民や国への働きかけのほか、都市農地保全支援事業及び灌漑用水対策事業の補助を通じて農地保全に係る取組を継続して実施する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼都市農地保全推進自治体協議会を通じた国への要望活動 ▼都市農地保全事業の補助 ▼灌漑用水対策事業の補助	新型コロナウイルス感染症の影響により都市農地保全推進自治体協議会主催のフォーラムは開催することができなかったものの、同協議会を通じた国への制度改善の要望活動や、農業用水及び農地保全に係る補助事業を通じた農地保全の取組を継続して実施することができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼都市農地保全推進自治体協議会主催のフォーラム等各種取組への参加 ▼都市農地保全事業の補助 ▼灌漑用水対策事業の補助	農業の生産基盤となる農地や農業用水を保全するため、都市農地保全推進自治体協議会を通じた都市住民や国への働きかけのほか、都市農地保全支援事業及び灌漑用水対策事業の補助を通じて農地保全に係る取組を継続して実施する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、現状の取組を継続して実施しつつ、より効果的な農地保全策について調査・研究する。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等	1	
1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
1 休止 2 廃止 3 完了		

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	30	05	15	0922500	負担金 都市農地保全推進自治体協議会	20,000	0	20,000
2	01	30	05	15	0923000	補助金 灌漑用水対策事業費	3,737,000	3,718,700	4,951,000
3	01	30	05	15	0929400	補助金 都市農地保全支援事業費	15,645,000	10,840,000	5,683,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							19,402,000	14,558,700	10,654,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	農業者支援事業			事務事業コード	40680300
概要	農業経営の安定・強化や農業の担い手の確保・育成を図るため、農業者や農業者団体に対して各種補助事業等による支援を行うとともに、意欲を持って農業経営に取り組む農業者の農業経営改善計画の策定を支援する。				
総合計画	基本施策	5	都市農業の育成	主担当部課名	生活環境部 産業振興課
	施策	68	農地の保全及び魅力ある農業経営への支援	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～
見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり				
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法、各種補助金交付要綱等（市・都）				
国土強靱化地域計画	該当あり	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	農業者、農業者団体				
事業目標	農業経営の安定・強化、農業の担い手の確保・育成を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業者や農業者団体に対して農業経営改善事業等の補助事業を実施する。</li> <li>○農作物の加害獣の捕獲・駆除による獣害対策を実施する。</li> <li>○市内の直売所の情報のほか、府中の農業を紹介するコラムなどを掲載した府中農産物直売所マップを作成・配布する。</li> <li>○農業者の農業経営改善計画の策定に係る個人相談会の実施等の支援を含めて計画の認定事務を執行する。</li> </ul>				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)								
① 令和4年度から令和7年度までの間に新たに農業経営改善計画の認定をした経営体数	1	計画値	1	2	3	4	4	要因の類型(※)							
	経営体	実績	4	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容	アンケート調査を実施し、農業経営改善計画の認定に関心があると回答した農業者に対して個別に声掛けを行うことでニーズを掘り起こした。														
要因の具体的内容	計画値							要因の類型(※)							
	実績							1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	82,641,000	17,580,000	17,342,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	43,822,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	167,000	172,000	0	0	0
一般財源	38,819,000	17,413,000	17,170,000	0	0	0
予算現額	72,651,000	26,030,000	0	0	0	0
決算額	68,082,890	21,153,008	0	0	0	0
国庫支出金	0	6,304,283	0	0	0	0
都支出金	35,130,200	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	71,000	0	0	0	0
一般財源	32,952,690	14,777,725	0	0	0	0
執行率	93.7%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	1.65	1.88				
職員人件費	12,927,432	15,038,723				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	351,428	312,058				
総コスト	81,361,750	36,503,789	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼第4次府中市農業振興計画の策定</li> <li>▼農業経営改善計画認定検討会議の開催及び計画の認定</li> <li>▼都市農業経営力強化事業の補助</li> <li>▼農業経営改善事業の補助</li> <li>▼農業生産団体育成事業の補助</li> <li>▼農作物加害獣の駆除</li> <li>▼農産物直売所マップの作成・配布</li> <li>▼農産物のうね売りのあっせん</li> </ul>	第4次府中市農業振興計画を策定したほか、農業経営改善計画の認定を通して意欲ある農業者の増加を図るとともに、各種の補助事業等通じた農業経営の支援を継続して実施することができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼農業経営改善計画認定検討会議の開催及び計画の認定</li> <li>▼農業経営改善事業の補助</li> <li>▼農業生産団体育成事業の補助</li> <li>▼農業担い手支援事業の補助</li> <li>▼農作物加害獣の駆除</li> <li>▼農産物直売所マップの作成・配布</li> </ul>	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、農業経営改善計画の認定支援や、農業経営改善事業などの各種補助事業等通じた農業者への支援を継続して実施する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼農業経営改善計画認定検討会議の開催及び計画の認定</li> <li>▼農業経営改善事業の補助</li> <li>▼農業生産団体育成事業の補助</li> <li>▼農業担い手支援事業の補助</li> <li>▼農作物加害獣の駆除</li> <li>▼農産物直売所マップの作成・配布</li> </ul>	農業経営改善計画の認定を通して意欲ある農業者の増加を図るとともに、各種の補助事業等通じた農業経営の支援を継続して実施することができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼農業経営改善計画認定検討会議の開催及び計画の認定</li> <li>▼農業経営改善事業の補助</li> <li>▼農業生産団体育成事業の補助</li> <li>▼農業担い手支援事業の補助</li> <li>▼農作物加害獣の駆除</li> <li>▼農産物直売所マップの作成・配布</li> </ul>	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、農業経営改善計画の認定支援や、農業経営改善事業などの各種補助事業等通じた農業者への支援を継続して実施する。

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	A これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、現状の取組を継続して実施するほか、令和4年度及び5年度においては事業実施を望む農業者がいなかったため未実施であった都市農業経営力強化事業について、令和6年度においては事業実施を望む農業者が見込まれるため、重点的取組として支援していく必要がある。また、その他の事業においても、より市民ニーズに応えた事業展開が図られるよう拡充も視野に見直ししていく必要がある。
C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合 D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	

(単位:円)

6 構成事業一覧

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	30	05	15	0918000	農産物特産化事業費	202,000	201,300	218,000
2	01	30	05	15	0920500	農作物獣害対策事業費	335,000	225,225	279,000
3	01	30	05	15	0924000	補助金 農業生産団体育成事業費	5,523,000	4,894,500	5,523,000
4	01	30	05	15	0927000	補助金 農業担い手支援事業費	98,000	98,000	200,000
5	01	30	05	15	0928500	補助金 農業経営改善対策事業費	11,422,000	9,429,700	11,122,000
6	01	30	05	15	0929800	補助金 農業団体等原油価格・物価高騰臨時対策事業費	0	6,304,283	
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							17,580,000	21,153,008	17,342,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	地域共存型農業推進事業			事務事業コード	40680400
概要	地産地消の市民還元型の農業や、環境にも配慮した農業など、都市地域と共存した農業の推進を図るため、農業者に対して補助事業による支援を行う。				
総合計画	基本施策	5	都市農業の育成	主担当部課名	生活環境部 産業振興課
	施策	68	農地の保全及び魅力ある農業経営への支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	各種補助金交付要綱（市）				
国土強靱化地域計画	該当あり	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	農業者				
事業目標	地域と共存した農業を推進する。				
事業内容	○市内の直売所や量販店、給食センター等に農産物を出荷する農業者の生産・出荷事業、体験型農園の開設・運営、直売所の広告宣伝事業など、農業者の地産地消の推進に資する経営に対する補助事業を実施する。 ○環境にやさしい循環型の農業を推進するため、有機堆肥・緑肥の購入経費に対する補助事業を実施する。				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)								
① 地産地消推進事業補助金の年間交付件数	31	計画値	31	31	31	31									
	件	実績	29	-	-	-		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	地産地消推進事業補助金の交付を通じて地産地消の市民還元型の農業経営を支援することができた。														
② 循環型農業支援事業補助金の年間交付件数	29	計画値	29	29	29	29									
	件	実績	24	-	-	-		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	循環型農業支援事業補助金の交付を通じて低農薬、減化学肥料による環境にやさしい農業経営を支援することができた。														

- (※) 要因の類型
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	2,534,000	2,906,000	30,070,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	27,234,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,534,000	2,906,000	2,836,000	0	0	0
予算現額	2,534,000	2,906,000	0	0	0	0
決算額	1,991,200	2,166,600	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,991,200	2,166,600	0	0	0	0
執行率	78.6%	74.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.13	0.46				
職員人件費	1,018,525	3,679,688				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	27,688	76,353				
総コスト	3,037,413	5,922,641	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼地産地消推進事業の補助 ▼循環型農業支援事業の補助	市内に農産物を出荷している農業者へ生産資材等の経費や体験農園の区画整備費を補助することで地産地消の市民還元型の農業経営を支援するとともに、有機堆肥・緑肥の購入に対する補助を実施し、環境にやさしい農業の推進に努めた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼地産地消推進事業の補助 ▼循環型農業支援事業の補助	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、地産地消推進事業及び循環型農業支援事業の補助を通じて地域共存型の農業を推進する取組を継続して実施する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼地産地消推進事業の補助 ▼循環型農業支援事業の補助	市内に農産物を出荷している農業者へ生産資材等の経費や体験農園の区画整備費を補助することで地産地消の市民還元型の農業経営を支援するとともに、有機堆肥・緑肥の購入に対する補助を実施し、環境にやさしい農業の推進に努めた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼地産地消推進事業の補助 ▼循環型農業支援事業の補助 ▼ハウス栽培温室効果ガス削減事業の補助	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、地産地消推進事業及び循環型農業支援事業の補助を通じて地域共存型の農業を推進する取組を継続して実施するほか、東京都の制度を活用したハウス栽培温室効果ガス削減事業の補助を令和6年度までの時限的な事業として新たに実施する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続		これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、地産地消推進事業及び循環型農業支援事業の補助を通じて地域共存型の農業を推進する取組を継続して実施する。なお、ハウス栽培温室効果ガス削減事業については令和6年度までの時限的な事業として実施する。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了	

(単位:円)

6 構成事業一覧

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	30	05	15	0929000	補助金 地産地消推進事業費	2,286,000	1,814,000	2,286,000
2	01	30	05	15	0929600	補助金 循環型農業支援事業費	620,000	352,600	550,000
3	01	30	05	15	0929900	補助金 ハウス栽培温室効果ガス削減事業費			27,234,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							2,906,000	2,166,600	30,070,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	農業まつり等運営事業				事務事業コード	40690100
概要	農業まつりや農業品評会、農業振興褒賞などのイベント等を実施し、市民に本市の農業の魅力をPRする。					
総合計画	基本施策	5	都市農業の育成	主担当部課名	生活環境部 産業振興課	
	施策	69	農業とふれあう機会の拡充	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等						
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民・農業者					
事業目標	本市の農業の魅力をPRを通じて、地域の農業に対する市民の興味・関心を引き出し、理解を深める。併せて農業者の生産意欲の高揚を図る。					
事業内容	○市民と農業者との交流や都市農業のPRを図る農業まつり、選りすぐりの農産物の出来栄を競う農業品評会、優秀農業経営者等を褒賞する農業振興褒賞を実施する。					

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① 農業まつりの開催日数	2	計画値	2	2	2	2	1	2	3	4	5	6	7	8
	日間	実績	2	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	新型コロナウイルス感染症の影響により縮小開催とはなったが、計画通り2日間の日程で開催することができた。													
② 農業品評会の部門数	5	計画値	3	5	5	5	1	2	3	4	5	6	7	8
	部門	実績	3	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	令和4年度の事業計画段階において、梨・ぶどう品評会及び梨立毛品評会については既に中止することが決定していた。夏野菜品評会、農産物品評会、植木・盆栽品評会については計画通り実施することができた。													

(※) 要因の類型

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	3,529,000	3,481,000	3,807,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,529,000	3,481,000	3,807,000	0	0	0
予算現額	452,000	3,120,000	0	0	0	0
決算額	187,516	2,759,335	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	187,516	2,759,335	0	0	0	0
執行率	41.5%	88.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.21	0.23				
職員人件費	1,645,309	1,839,844				
月額制会計年度任用職員数	0	0.04				
月額制会計年度任用職員人件費	0	128,725				
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	44,727	44,814				
総コスト	1,877,552	4,772,717	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼農業まつりの開催 ▼農業品評会の開催 (2部門) ▼優秀農業経営者等の褒賞の実施	当初予定していた農業まつり、植木・盆栽品評会、農業振興褒賞式典については、新型コロナウイルスの影響により中止となったが、夏野菜品評会及び農産物品評会を開催するとともに、優秀農業経営者等に対する褒賞を行い、農業者の生産意欲の高揚を図った。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼農業まつりの開催 ▼農業品評会の開催 (3部門) ▼農業振興褒賞式典の開催	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しつつ、農業まつりや農業品評会等の催しを継続して実施するとともに、より効果的なものとなるよう市民や農業者への周知方法等を工夫する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼農業まつりの開催 ▼農業品評会の開催 (3部門) ▼優秀農業経営者等の褒賞の実施	当初予定していた農業振興褒賞式典については、新型コロナウイルスの影響により中止となったが、夏野菜品評会、農産物品評会、植木・盆栽品評会を開催するとともに、優秀農業経営者等に対する褒賞を行い、農業者の生産意欲の高揚を図った。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼農業まつりの開催 ▼農業品評会の開催 (5部門) ▼農業振興褒賞式典の開催	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しつつ、農業まつりや農業品評会等の催しを継続して実施するとともに、より効果的なものとなるよう市民や農業者への周知方法等を工夫する。

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載) C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合 D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	A
農業まつりについては全庁的なイベントの見直しの流れや、農業まつりを協働で実施している関係機関等からの要望、市政施行70周年を迎える年であることなどを総合的に勘案し、府中農業の魅力をより効果的にPRすることができるよう、中心市街地での開催なども視野に、開催方法についての大幅な見直しを検討する。	

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	30	05	15	0916000	農業まつり等運営費	3,481,000	2,759,335	3,807,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							3,481,000	2,759,335	3,807,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	農業体験推進事業				事務事業コード	40690200
概要	市民農業大学や親子ふれあい農園などの農業体験講座や、小学校における学童農園を実施し、市民に農業体験や農業者との交流の場を提供する。					
総合計画	基本施策	5	都市農業の育成	主担当部課名	生活環境部 産業振興課	
	施策	69	農業とふれあう機会の拡充	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等						
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民					
事業目標	市民に農業体験や農業者との交流の場を提供することを通じて、地域の農業に対する市民の興味・関心を引き出し、理解を深める。					
事業内容	○農業者を講師として招き、種まきから収穫までを体験することのできる市民農業大学や親子ふれあい農園などの農業体験講座を実施する。 ○小学校における学習活動の一環として農業者を講師として招き農業体験を行う学童農園を実施する。					

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の種類(※)							
① 農業体験講座数	5	計画値	5	5	5	5	1	2	3	4	5	6	7	8
	講座	実績	4	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	計画していた講座のうち農業プチ講座については、講師となる農業者を確保することができず実施することができなかった。													
		計画値					要因の種類(※)							
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														

- (※) 要因の種類
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	2,892,000	2,892,000	2,892,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	650,000	650,000	650,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	48,000	61,000	85,000	0	0	0
一般財源	2,194,000	2,181,000	2,157,000	0	0	0
予算現額	2,892,000	2,892,000	0	0	0	0
決算額	2,594,980	2,541,535	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	562,000	562,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	46,400	48,800	0	0	0	0
一般財源	1,986,580	1,930,735	0	0	0	0
執行率	89.7%	87.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.23	0.46				
職員人件費	1,802,006	3,679,688				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	48,987	76,353				
総コスト	4,445,973	6,297,576	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民農業大学の実施 2講座 ▼親子ふれあい農園の実施 2講座 ▼農業プチ講座の実施 1講座 ▼学童農園の実施 11校	農産物を生産する難しさや楽しさを実感できる農業体験や地域の農業者とのふれあいを通じて、都市農業に対する理解を深める機会を市民に提供することができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼市民農業大学の実施 2講座 ▼親子ふれあい農園の実施 2講座 ▼農業プチ講座の実施 1講座 ▼学童農園の実施 13校	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、市民農業大学等の農業体験講座や学童農園事業を継続して実施する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民農業大学の実施 2講座 ▼親子ふれあい農園の実施 2講座 ▼学童農園の実施 13校	農産物を生産する難しさや楽しさを実感できる農業体験や地域の農業者とのふれあいを通じて、都市農業に対する理解を深める機会を市民に提供することができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼市民農業大学の実施 2講座 ▼親子ふれあい農園の実施 2講座 ▼農業プチ講座の実施 1講座 ▼学童農園の実施 13校	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、市民農業大学等の農業体験講座や学童農園事業を継続して実施する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、現状の取組を継続して実施しつつ、西府町農業公園と連携した取り組みも検討していく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等	1	
1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
1 休止 2 廃止 3 完了		

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	30	05	15	0919000	市民農業大学運営事業費	601,000	600,120	601,000
2	01	30	05	15	0920000	子ども農業体験推進事業費	2,291,000	1,941,415	2,291,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							2,892,000	2,541,535	2,892,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	市民農園維持管理事業				事務事業コード	40690300
概要	市民農園を設置・維持管理し、市民の利用に供することにより、市民の農業とのふれあいを推進する。					
総合計画	基本施策	5	都市農業の育成	主担当部課名	生活環境部 産業振興課	
	施策	69	農業とふれあう機会の拡充	事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律、府中市市民農園要綱					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民					
事業目標	市民農園の設置、維持管理を通じて、当該農地の保全を図るとともに、地域の農業に対する市民の興味・関心を引き出し、理解を深める。					
事業内容	○農地所有者から借り受けた農地を区画割し、家庭菜園として市民に貸し出しを行う市民農園を設置・維持管理して市民の利用に供する。					

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)								
① 市民農園の区画数(4月1日現在)	925	計画値	871	819	771	726	726	1	2	3	4	5	6	7	8
	区画	実績	813	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
要因の具体的内容	規模が比較的大きな2農園において、農地所有者の事情による農園用地の返還が生じ、大幅に区画数が減少することとなった。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	5,686,000	4,820,000	6,767,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	5,415,000	4,405,000	4,467,000	0	0	0
一般財源	271,000	415,000	2,300,000	0	0	0
予算現額	5,686,000	5,181,000	0	0	0	0
決算額	4,708,321	3,873,015	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	4,708,321	3,873,015	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
執行率	82.8%	74.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.33	0.33				
職員人件費	2,585,486	2,639,776				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	70,285	54,776				
総コスト	7,364,092	6,567,567	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
年度当初の市民農園数…16農園 (年度末現在は15農園)	東部と西部での農園数の差や日当たりの影響など問題はあるものの概ね好評を得ており、市民と農業とのふれあいを推進することができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
15農園を運営するとともに、ニーズの多い地域では農地の提供の相談に応じ新設や増設を検討する。	適宜現地を回って農園の利用状況を確認し、適正に管理していく。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
年度当初の市民農園数…15農園 (年度末現在も15農園)	東部と西部での農園数の差や日当たりの影響など問題はあるものの概ね好評を得ており、市民と農業とのふれあいを推進することができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
15農園を運営するとともに、ニーズの多い地域では農地の提供の相談に応じ新設や増設を検討する。	適宜現地を回って農園の利用状況を確認し、適正に管理していく。また、市内でJAが運営する市民農園のサービス水準と利用料金を参考にして、本市の利用料金の見直しの必要性について検討していく。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性									
A 重点化・拡大して継続		需要が高いため当面事業内容の変更は考えていないが、市内でJAが運営する市民農園のサービス水準と利用料金を参考にして、本市の利用料金の見直しの必要性について検討していく。									
B 現状のまま継続											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> </table>			1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	3	現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)			
1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)										
2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)										
3	現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)										
C 見直して継続	B										
D 休止・廃止等	1										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>見直し・縮小</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>他事業との整理・統合</td> </tr> </table>	1	見直し・縮小	2	他事業との整理・統合	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>休止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>廃止</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>完了</td> </tr> </table>	1	休止	2	廃止	3	完了
1	見直し・縮小										
2	他事業との整理・統合										
1	休止										
2	廃止										
3	完了										

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	30	05	15	0968000	市民農園管理費 管理委託料	2,713,000	3,073,755	2,641,000
2	01	30	05	15	0969000	市民農園管理費 光熱水費	257,000	220,742	227,000
3	01	30	05	15	0970000	市民農園管理費 諸経費	1,850,000	578,518	3,899,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							4,820,000	3,873,015	6,767,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	農業公園管理運営事業				事務事業コード	40690400
概要	農業公園を設置・管理運営し、市民の利用に供することにより、市民の農業とのふれあいを推進する。					
総合計画	基本施策	5	都市農業の育成	主担当部課名	生活環境部 産業振興課	
	施策	69	農業とふれあう機会の拡充	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	令和2年度～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	都市公園法、府中市立農業公園条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民					
事業目標	農業公園の設置・管理運営を通じて、当該農地の保全を図るとともに、地域の農業に対する市民の興味・関心を引き出し、理解を深める。					
事業内容	○市民の農業とのふれあいの推進や都市農業のPRを目的とした農業公園を設置・管理運営し、市民の日常的な利用に供するとともに、園内の圃場を活用した農業体験講座や収穫体験イベント等を開催する。					

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① 西府町農業公園の農業体験講座数	4	計画値	6	6	6	6	1	2	3	4	5	6	7	8
	講座	実績	6	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	新型コロナウイルス感染症には配慮しながら計画通りの講座を実施することができた。													
② 西府町農業公園の収穫体験イベントの実施回数	8	計画値	8	8	8	8	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実績	8	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容	新型コロナウイルス感染症には配慮しながら計画通りの講座を実施することができた。													

(※) 要因の類型

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	11,825,000	12,216,000	11,810,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	52,000	200,000	285,000	0	0	0
一般財源	11,773,000	12,016,000	11,525,000	0	0	0
予算現額	11,742,000	12,216,000	0	0	0	0
決算額	10,410,855	11,252,252	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	180,500	279,000	0	0	0	0
一般財源	10,230,355	10,973,252	0	0	0	0
執行率	88.7%	92.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.33	0.33				
職員人件費	2,585,486	2,639,776				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	70,285	54,776				
総コスト	13,066,626	13,946,804	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼農業体験講座 4講座 ▼収穫体験イベント 4種 (8回) ▼ふれあい朝市 (J Aとの共催) 1回	西府町農業公園が本格的に稼働する初年度として、計画通り円滑に運営することができたほか、当初計画には無かったがJ Aとの共催でふれあい朝市を開催するなど、市民が農業とふれあう機会の拡充を図ることができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼農業体験講座 6講座 ▼収穫体験イベント 4種 (8回)	前年度の取組に加え、地域の農業者との協働による農業体験講座2種を開始し、市民が農業とふれあう機会の更なる拡充を図る。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼農業体験講座 6講座 ▼収穫体験イベント 4種 (8回)	前年度の取組に加え、新たに開始した地域の農業者との協働による農業体験講座2種についても施設の運営事業者との連携を調整しながら円滑に運営することができ、市民が農業とふれあう機会の拡充を図ることができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼農業体験講座 6講座 ▼収穫体験イベント 4種 (8回)	これまでの実績を踏まえ一定の成果が得られていることから、各種の講座、イベントをより魅力ある企画となるよう検討しながら継続して実施する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続		B
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	1
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了	

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	30	05	15	0920020	農業公園管理運営費 業務運営委託料	9,641,000	9,640,400	9,770,000
2	01	30	05	15	0920030	農業公園管理運営費 管理委託料	1,052,000	1,051,160	1,057,000
3	01	30	05	15	0920040	農業公園管理運営費 光熱水費及び燃料費	792,000	362,119	362,000
4	01	30	05	15	0920050	農業公園管理運営費 諸経費	731,000	198,573	621,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							12,216,000	11,252,252	11,810,000